

2026年卒

6月1日時点の就職活動調査 <速報>

キャリタス就活 学生モニター2026 調査結果 (2025年6月発行)

2026年卒業予定者の採用面接が今月1日に正式に解禁され、就職戦線は山場を迎えた。売り手市場が続く中、内定率はどのように変化しただろうか。6月1日現在のキャリタス就活・学生モニターの就職活動状況を調査した。

内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 6月1日時点の内定^(※)状況

- 内定率は83.7%。前年同期実績(85.2%)をやや下回るものの高水準
- 就職活動終了者は全体の62%。継続者は「内定あり」「内定なし」を合わせて38%

2. 内定保持学生の未決理由

- 「本命企業がまだ選考中」が最多。「自分に合っているかわからない」が次点

3. 就活継続学生の進捗度合

- 「順調」と感じる学生49.8%、「苦戦」50.2%で拮抗

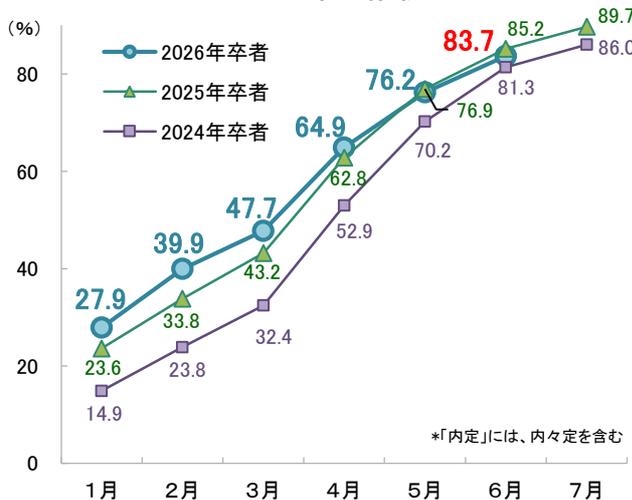
※「内定」には、内々定を含む

1. 6月1日時点の内定状況

6月1日現在の学生モニターの内定率は83.7%。先月調査(5月1日76.2%)からの1カ月間で7.5ポイント上昇し、8割を超えた。今期は広報解禁前に内定率が約4割を記録するなど(2月調査39.9%)、早い時期の過熱ぶりが目立った。内定率は3月の広報解禁後に大きく伸び、5月以降は前年をやや下回るものの、依然高水準で推移している。

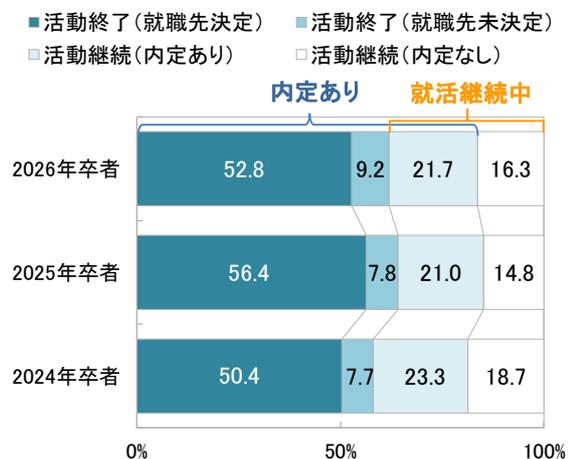
調査時点で就職先を決定して活動を終了した者の割合はモニター全体の52.8%。複数内定を保留しているなど未決定である者(9.2%)を合わせると、終了者は62.0%になる。活動継続者は「内定あり」(21.7%)、「内定なし」(16.3%)を合わせて38.0%。

<内定率の推移>



※各月1日時点

<活動状況の分布>

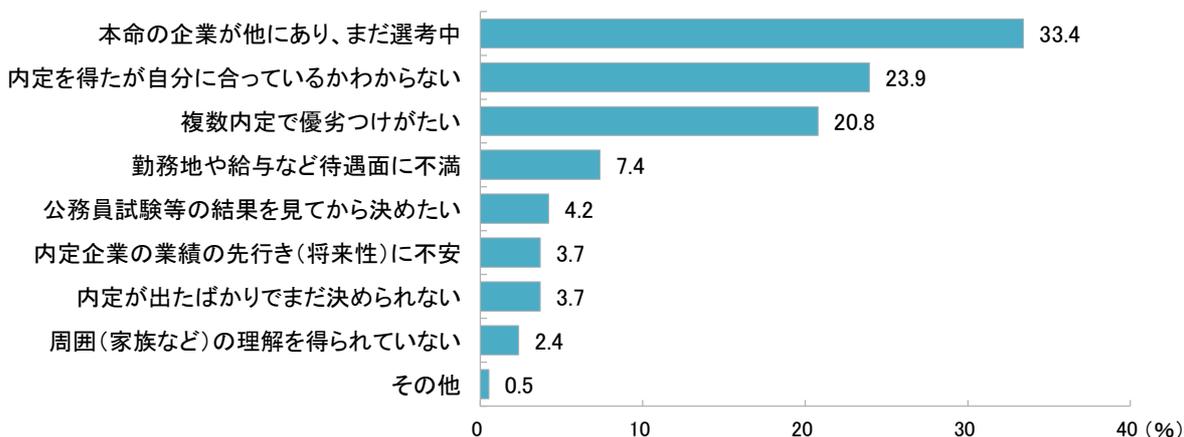


※各年6月調査

2. 内定保持学生の未決定理由

内定を取得しても就職先を決めていない学生(モニター全体の30.9%)にその理由を尋ねた。最も多いのは「本命の企業が他にあり、まだ選考中」で(33.4%)、選考解禁後に第一志望の面接が始まったという学生も一定数いるのだろう。「自分に合っているかわからない」(23.9%)、「複数内定で優劣つけがたい」(20.8%)と続き、内定は得たものの決め手に欠け、承諾を迷う学生も少なくないことがわかる。

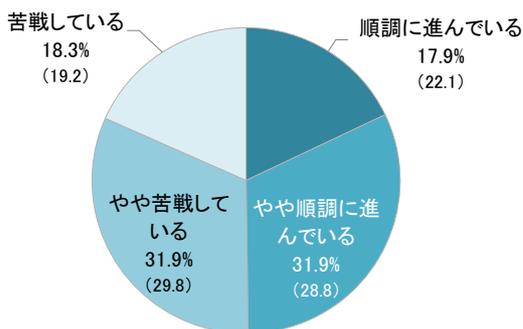
<内定保持者が就職先を決めていない理由>



3. 就活継続学生の進捗度合

内定保持者を含め、就職活動を継続している学生(モニター全体の38.0%)に就職活動の進捗度合を尋ねた。「順調に進んでいる」と回答した学生は17.9%で、「やや順調」を合わせ約5割(計49.8%)。「苦戦」「やや苦戦」の合計も約5割で(計50.2%)、「順調」と感じる学生と「苦戦している」と感じる学生の割合は拮抗している。

<就活継続学生の進捗度合>



※()内は前年同期調査の数値

■「順調に進んでいる」と思う理由

- 一番気になっている企業の一次面接に通ったため。 <文系女子>
- 最終面接に何度も進んでおり、今のところは順調だと感じている。 <文系男子>
- なんだかんだ内定が出ている。 <理系男子>

■「苦戦している」と思う理由

- 選考対策をして頑張っても選考に通らない中で、採用活動を行う企業が次第に減ってきているから。 <文系女子>
- 第一志望の企業に落ち、他に自分が働きたい業界や企業が見つかっていないため。 <理系女子>
- 目標としていた就活終了時期よりも、大幅に遅れているから。 <文系男子>

調査概要

- 調査対象：2026年3月に卒業予定の大学4年生(理系は大学院修士課程2年生含む)
- 回答者数：1,056人(文系男子205人、文系女子462人、理系男子248人、理系女子141人)
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2025年6月1日~5日
- サンプリング：キャリアタス就活 学生モニター2026
- 調査実施：株式会社キャリアタス/キャリアタスリサーチ